



ファシリテータ
涌井 雅之

(造園家・東京都市大学特別教授、岐阜県立森林文化アカデミー学長、なごや環境大学学長、中越みどり復興アクション理事) 2005年日本国際博覧会「愛・地球博」会場演出総合プロデューサー、国際生物多様性年の国内委員会「地球生きもの委員会」委員長代行。TBSサンデーモーニング、テレビ朝日「やじうまテレビ」、NHK総合「プラタモリ」などにコメンテーターとして出演。「生態環境都市を目指して」・「中越震災復興・再生と創造を目指して」など多数のシンポジウムに参加。



佐竹 直子

(多世代交流館になニーナ代表理事、チーム中越理事(復興支援団体)、蔵王保育園園長、市民協働ネットワーク長岡理事、まちなかキャンパス長岡講師他) 20代半ば、青年海外協力隊として、フィリピンのピナツボ火山被災地に保育士隊員として派遣され帰国後フィリピン初の保育士養成校の建設と、研修員を日本に招き保育者養成に携わる。結婚出産を機に、地元長岡市で子育てのネットワークをつくる活動を始める。中越地震後、「多世代交流館になニーナ」を立ち上げ、子育て中の仲間と「心の復興」をテーマに多世代多文化多地域多分野の人たちと日常的に交流する活動を行う。保育園では、保育の4本柱の一つとして「自然を生かした保育」に力を入れている。



上野 裕治

(ランドスケープアーキテクト・環境共生学博士、元長岡造形大学建築・環境デザイン学科教授、長岡市地域振興戦略部地域づくりアドバイザー、長岡市景観審議会委員、中越みどり復興アクション理事) 越後みしま竹あかり街道、比礼カカシプロジェクト、おおた雪あかりプロジェクト等の監修を通じて地域活性化に貢献。現在は農村景観・環境の保全計画、生物多様性に配慮したランドスケープデザイン、農的生物多様性などを研究。



高島 かよこ

(越後杉・三条産手道具・自然素材で手づくり箸を製作販売しながら、新潟県内や東京都内で森と人をつなぐワークショップを開催している) 幼少の頃より母と森に入り、様々な森からの知恵を教わる。大学で森林・林業を学んだのち、県の林業職員となり、8年前に退職。長岡市東山かけはしの森の植樹育樹に関わる。



大塚 克弘

長岡市都市整備部長
長岡市役所入庁以来、建設部土木課、都市整備部公園緑地課、土木部道路管理課長を経て平成 29 年 4 月より現職。



鈴木 重彦

(造園家・長岡市緑地協会理事長、中越みどり復興アクション代表、縄文の杜をつくる会会長、長岡地区自然環境再生推進協議会会長、長岡市景観審議会委員等を歴任) アメリカフォートワース市の「スズキガーデン」、ドイツリアー市の「宇楽園」を作庭、国際交流の懸け橋となっている。中越震災の復興支援を通じ里山の環境保全と地域再生の視点から、造園家として被災地の活性化実践プログラムを支援している。



小熊 順一

中越よつば森林組合代表理事組合長、新潟県林業研究会連絡協議会会長、新潟県林業改良協会理事、新潟県森林組合連合会副会長、新潟県竹産業振興会会長、全国林業政治連盟新潟県支部副支部長等を歴任。三島町町議会議員、地域消防団長、長岡市環境審議会委員、新潟県林業雇用改善等推進会議委員など地域貢献に尽力している。林業を通じての社会貢献が評価され旭日双光章を受章される。

開催次第

12:00 受付開始	14:50 休憩
13:00 開会…開会セレモニー	15:05 パネルディスカッション
13:15 記念講演…涌井雅之氏	16:35 質問対応
14:30 アトラクション …あすなる保育園によるステージ発表	17:00 閉会



シンポジウム参加申込書 ※下記項目をご記入の上、FAX・メールでお申し込み下さい。【9月20日締切】

企業・団体名	個人参加の方は記入不要	連絡先 (代表者)	()
参加者氏名		参加者氏名	
参加者氏名		参加者氏名	
参加者氏名		参加者氏名	

※ 申込書に記載された事項は、当法人の目的以外には使用しません。

お申し込み先

一般社団法人 長岡市緑地協会事務局

FAX 0258-29-0126

e-mail nagaokar@sea.plala.or.jp